

国際政治

165

開発と政治・紛争 —— 新しい視角

日本国際政治学会編

序論—開発と政治・紛争をみる新しい視角	稲田 十一
内戦、経済成長、天然資源	大村 啓 喬
暴動と経済	中溝 和 弥
参加型憲法制定の問題点と可能性	志賀 裕 朗
紛争後社会における民主化の進捗と国家建設	田中（坂部） 有佳子
ボスニア・ヘルツェゴビナへの復興・開発支援と分断の再生産	片柳 真 理
政治制度の再考と非対称型自治	市倉 英 和
分権化と紛争予防	笹岡 雄 一
開発援助におけるデモクラシーと民主化支援	杉浦 功 一
紛争後平和構築における民主的制度導入による 持続可能な平和実現のための条件	水田 慎 一
平和構築における「未（非）承認国家」問題	富樫 耕 介
<hr/>	
「大フィンランド」思想の変遷	石野 裕 子
<hr/>	
<書評論文>	
日本外交にとって冷戦とは	河野 康 子
<hr/>	
<書 評>	
キンバリー・ハッチングス著 『グローバル倫理』	池田 丈 佑
野口和彦著 『パワー・シフトと戦争』	芝井 清 久

2011年7月刊